

臨床薬理学入門

2 単位 (選択) 隔年 (後期)

Introduction to Clinical Pharmacology

玉置 俊晃(授業責任者)・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 滝口 祥令・教授 / 医療生命薬学専攻

際田 弘志・教授 / 医療生命薬学専攻, 土屋 浩一郎・教授 / 医療生命薬学専攻, 山内 あい子・教授 / 医療生命薬学専攻, 富田 修平・准教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】薬の効果に個人差が生じる要因を理解し、有効で安全な医薬品の適正な使用方法に関する基本事項を身につける。

【授業概要】人々の病気の治療・予防に多大な役割を担っている薬物をより有効に、かつ安全に使うために、薬物の人体における作用と生体内動態に影響を及ぼす諸因子について解説し、モデル式を利用した科学的評価に基づく薬物療法について講義する。また、具体的な疾患に対する薬物療法の現状と問題点や薬害についても解説する。

【履修上の注意】講義の一部は e-learning 化する予定である。e-learning 学習も出席として取り扱う。

【授業計画】

1. 授業ガイダンス+臨床薬理学序論 (担当者: 玉置 俊晃)
2. 薬物動態の原理 (担当者: 富田 修平)
3. 薬物の体内動態 (担当者: 富田 修平)
4. 薬物のバイオアベイラビリティ (担当者: 際田 弘志)
5. TDM の実践 (担当者: 滝口 祥令)
6. P450 と薬物相互作用 (担当者: 富田 修平)
7. 薬物相互作用 (担当者: 玉置 俊晃)
8. 腹痛と治療薬 (担当者: 玉置 俊晃)
9. 高血圧治療薬 (担当者: 玉置 俊晃)
10. かぜ薬 (担当者: 玉置 俊晃)
11. 抗酸化薬 (担当者: 土屋 浩一郎)
12. 薬物と健康食品 (担当者: 玉置 俊晃)
13. 薬害 (担当者: 玉置 俊晃)
14. 妊婦・授乳婦と医薬品情報 (担当者: 山内 あい子)
15. 臨床試験と生命倫理 (担当者: 玉置 俊晃)

【成績評価】出席状況と小テストまたはレポート等により評価する。12 回以上の出席が必要。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217082>

【連絡先】

- ⇒ 玉置 (088-633-7061, tamaki@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)
- ⇒ 滝口 (088-633-7466, takiguti@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 際田 (088-633-7259, hkiwada@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 土屋 (薬物機能制御学講座, 088-633-7250, tsuchiya@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 山内 (088-633-7266, aiko@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 富田 (207, 088-633-6071, tomita@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL